

【事業報告】

I. 会議等の開催

1. 第1回理事会

2019年5月16日(木)10時30分から、東京都千代田区内神田3-3-4全農薬ビル9階会議室において第1回理事会を開催し、付議事項を審議

- (1) 2018年度事業報告及び収支決算(案)承認の件
- (2) 第30回通常総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項、その他
- (3) 任期満了に伴う役員候補推薦の件
- (4) その他
 - 1) 各委員会等の委員交代について
 - 2) その他

2. 第30回通常総会

2019年6月19日(水)14時00分から、東京都千代田区鍛冶町2-2-1三井住友銀行神田駅前ビル TKP 神田駅前ビジネスセンター 5C 会議室において第30回通常総会を開催し、次の議案を付議し異議なく原案通り議決

- 第1号議案 2018年度事業報告及び収支決算承認の件
- 第2号議案 理事12名選任の件
- 第3号議案 監事2名選任の件
- 第4号議案 その他

3. 臨時理事会

2019年6月19日(水)15時5分から、東京都千代田区鍛冶町2-2-1三井住友神田駅前ビル (TKP 神田駅前ビジネスセンター5階会議室において臨時理事会を開催し、役付理事選出等を審議し、議案通り議決

- (1) 2019年度役付理事選出の件
- (2) 2019年度役員報酬取り決めの件
- (3) 役員退職慰労金支給の件

4. 第2回理事会

2020年3月25日(水)10時30分から、東京都千代田区内神田3-3-4全農薬ビル9階会議室において第2回理事会を開催し、付議事項を審議

- (1) 2019年度事業及び収支決算(見込)報告
- (2) 2020年度事業計画及び収支予算(案)
- (3) 2020年度借入金の借入最高限度額
- (4) 役員報酬の上限
- (5) 会員の入会及び退会

- (6) 各委員会等の委員交代
- (7) その他

5. 監査

2019年4月16日(火)に2018年度事業報告、収支決算等に関し監事による監査が実施され、適正との「監査報告書」を受領。

6. 委員会、専門部会、その他

(1) 運営委員会 (4/22、7/29、1/16、3/10)

- ① 4/22 ・2019.5.16 理事会付議事項 (2018年度事業報告及び収支決算(案)、第30回通常総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項、任期満了に伴う役員推薦、各委員会および専門部会、その他)について
 - ・報告事項(委員会活動、農薬工業会受託事業、緑の安全管理士)
 - ・その他
- ② 7/29 ・農薬工業会からの要望事項協議(緑の安全推進協会への事業支援)
- ③ 1/16 ・農薬工業会からの要望事項対応の取り纏め。
- ④ 3/10 ・2020.3.25 理事会付議事項 (2019年度事業報告及び収支決算(見込)、2020年度事業計画・収支予算案、2020年借入金限度額、役員報酬の上限、会員の入会及び脱会、各委員会等の委員交代、その他)
 - ・報告事項(委員会活動、農薬工業会受託事業、緑の安全管理士、他)

(2) 技術研修委員会 (7/5)

- ① 2019年度「緑の安全管理士」資格認定・更新研修
- ② 試験問題集の改訂作業
- ③ 試験問題の選定

(3) 環境安全対策委員会

① ゴルフ場専門部会 (4/11、10/25)

- ・農薬取締法改正に係る使用者および蜜蜂の評価に関するポイントについて、農薬工業会より説明を受け、情報の共有、問題点の抽出に努めた。
- ・2019 ジャパンターフショー(11/7、8 7カダ電子アリーナ)に参加するゴルフ場関係者への啓発活動として、農薬適正使用のリーフレットの配布およびセミナーでの講演を実施した。

② 家庭園芸剤専門部会 (4/11、5/23、31、7/3、8/22、12/11、26、1/27)

- ・農薬取締法改正に係る使用者および蜜蜂について問題点を抽出し、当局と不明確な点を確認し情報の共有をおこなった。
- ・(公社)日本家庭園芸普及協会が認定するグリーンアドバイザー(GA 現在約12千人)を対象とし啓発に取り組んでいる。リーフレット「第三話 農薬の安全性」を作成し、3月発送DMにてGAへ配布した。

II. 会員の異動

会員数

	正会員	賛助会員	計
2018年度末(2019.3.31)	144	1	145
入会	2	0	2
退会	1	0	1
2019年度末(2020.3.31)	145	1	146

(入会) エフエムシー・ケミカルズ(株) ZMクroppプロテクション(株)

III. 事業の実施

1. 農薬の適正使用に関する研修「緑の安全管理士」資格認定事業（公益目的事業1）

(1) 「緑の安全管理士」の資格認定事業

第41回「緑の安全管理士」資格認定研修会を11月27日～29日にアーバンネット神田カンファレンス（東京都千代田区内神田）において開催した。受講者は62名（内2名は再受講）で、審査の結果61名を認定した。受講料は、41,000円。

(2) 「緑の安全管理士」認定審査会（12/13、3/6）

① 12/13 ・第41回「緑の安全管理士」認定研修会（11/27～29）受講修了者に対する審査の結果、62名中61名を「緑の安全管理士（緑地・ゴルフ場分野）」に認定し、認定証書等を1月に送付。また、同時に第93回植物防疫研修会修了者52名を「緑の安全管理士（農耕地分野）」に認定し、認定証書等を送付。

② 3/6 ・第94回植物防疫研修会修了者に対する審査の結果、55名を認定した。（昨今の事情から委員長と協議の上、委員の参集を取り止め、事務局による認定審査と行い、特段の問題なく議事録をもって認定審査を終えた。）

(3) 資格更新研修会及び「緑の安全管理士会」支部大会の開催

資格更新研修会及び「緑の安全管理士会」支部大会を開催した。参加総数は881名（前年度1,149名）で、資格更新者（資格有効期間5年）の受講料は20,200円。各支部の開催日程と参加者区分・数および研修内容、講師は以下の通り。

支部名	更新者数	通常参加者	支部名	更新者数	通常参加者
北海道 11/22	32	30	東北 11/26	41	49
関東①12/3	66	142	関東②1/31	92	135
東海・北陸 11/30	36	59	近畿 1/21	24	49
中国・四国 1/22	21	36	九州・沖縄 1/23	26	43
			計	338	543

研修内容：

- ①農薬行政の動向（農水省、各地方農政局）
農薬取締法の一部改正を踏まえて最近の変更点など
- ②農薬の環境影響に係るリスクの評価と管理（環境省）
生活環境動植物に対する農薬の影響評価とは
- ③農薬の登録状況を巡る最近の話題（FAMIC）
除草剤の使用基準における留意点など（特に樹木類、樹木等の区分について）
- ④外来雑草による被害と防除対策（（公財）日本植物調整剤研究協会）

(3) 「みどりのたより」の発行およびメールマガジンの発信

最近の農薬を巡る動向等について取り纏めた「みどりのたより」を3回発行(4/10、7/24、12/25)し緑の安全管理士等に配布し、当会ホームページにも掲載(PDF版)した。また、「緑の安全管理士」へメールマガジンを配信(43回)し、登録情報等をタイムリーに情報提供に努めた。

2. 農薬の適正使用に関する知識の普及・啓発事業（公益目的事業2）

農薬工業会との協働事業として、次の事業を継続展開し、概要等を当会ホームページに掲載した。

(1) 講師派遣事業

- ・農業団体、生産組合、都道府県等が主催する192件(要請206件、開催中止14件)(前年196件)の研修会等に講師を派遣した。
- ・講演内容は農薬の安全性・適正使用に関する要請が多く、JA直売所などの依頼が増加している。また、ゴルフ場関係での申込も増えている。
- ・講師のレベル向上のため研修会を3回(7/10、11/18、3/25)開催した。
講師資料については、分野ごとに資料を区分し、講師が要請に応じ編集できるよう整理し、併せて説明資料の見直し、改訂、追加作業を行った。

(2) 電話相談室

- ・農薬に関する一般的な疑問等に対応するため、「農薬でんわ相談」を開設し対応している。本年度の相談件数は155件で、農薬使用91件、安全性61件、苦情2件、要望・提案1件。相談者は、使用者90人、指導者14人、販売者5人、その他46人。なお、個別農薬に関する問合せには、該当する農薬会社を紹介し、対応をお願いしている。
- ・農薬製造各社は、製品ラベルに連絡先を記載するように進めていることから、お客様窓口担当者の対応レベル向上を目指している。講師を招いた研修会などを3回開催(10/25、12/5、1/31)した。

(3) 啓発用リーフレットの配布活用

啓発用リーフレット（農薬の役割、食べ物の安全性、適正使用、保管管理の徹底、保護具着用推進、保護具の知識、飛散防止のポイント、きちんと後片づけ、農薬は責任をもって正しく使いましょう、あ！その作物には使えないよ！、使用回数カウ

ントできてる?、農薬使用の「ハテナ」にお答え、農薬適正使用のポイント、ちゃんと知りたい農薬のこと、RACコードをご存知ですか?) 14種を、各都道府県、流通団体などの講演会開催時などの活用をはかった。本年度は、合計 241,409 部/381ヶ所を要望に応じ送付した。(前年同月 185,044、269ヶ所)。

件数の増加は。薬剤抵抗性・耐性対応としての新規「RACコードをご存知ですか」、農薬取締法改正による「使用回数カウントできてる?」改訂による要望が寄与している。

3. 農薬の安全使用に関する図書・印刷物等の発行 (公益目的事業 3)

(1) 「2020 グリーン農薬総覧 追補版」発刊

2019年1月～12月新規農薬登録されたゴルフ場・緑地等に関連する品目、適用追加等の情報を取りまとめ3月に発行した。会員、行政機関等へは無償配布し、ゴルフ場、防除・緑化業者等へは実費にて有償頒布した。

(2) ゴルフ場・緑地向け農薬出荷統計の取り纏め

2019農薬年度でのゴルフ場・緑地向け農薬出荷統計の収集とこれを基に作成した関連資料を1月に当会ホームページで公表した。

販売数量(t,kl) : 7,372 (対前年比 102.7%)

販売金額(百万円) : 28,589 (対前年比 102.9%)

(3) ゴルフ場・緑地等農薬関連情報の提供

当会ホームページ等により、農薬登録情報、農薬安全使用等に関する情報の提供に努めた。

4. その他

(1) 会員通信の発行

当会会員会社を対象とする会員通信を3回(4/8、8/6、11/10)発行した。各社へは、ご登録いただいたEメールアドレスへ発信した。(一部郵送)

2020年6月

公益社団法人 緑の安全推進協会